



2020年5月8日

各位

会社名 株式会社フェイス
代表者名 代表取締役社長 平澤 創
(コード番号 4295 東証第一部)
問合せ先 取締役 最高財務責任者 佐伯 次郎
TEL (03) 6855-7811

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期決算において、特別損失を計上するとともに、2019年11月8日に公表した連結業績予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社グループが運営する店舗等の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失544百万円を計上することといたしました。また、当社グループが保有する非上場株式についても取得価額に比べ時価が著しく下落し、回復の可能性があると思われる株式について減損処理を行い、投資有価証券評価損204百万円を計上いたします。

なお、2020年3月期第3四半期累計期間までに既に計上しております減損損失計上額を含めた2020年3月期における特別損失計上額合計は、1,310百万円であります。

2. 業績予想の修正について

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,000	300	300	△450	△34.02
今回修正予想 (B)	20,090	385	465	△880	△67.60
増減額 (B-A)	90	85	165	△430	
増減率 (%)	0.5	28.3	55.0	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	20,965	144	△586	△309	△23.15

3. 修正の理由

2020年3月期の業績予想につきましては、売上高はほぼ予定通りに推移いたしました。営業利益につきましてはレーベル事業における利益率の高い自社販売作品や音源使用にかかる売上が増加したことにより、前回発表予想数値を上回る見込みとなり、また、営業外収益への投資事業組合運用益の計上により、経常利益も予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、上記特別損失の計上に伴い、予想を下回る見込みとなりました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止と安全確保を最優先とし、当社が運営するミュージックラウンジなどの飲食店舗2店舗の営業休止およびコンサートの開催の自粛を実施いたしました。なお、業績予想の修正値には2020年3月末までの店舗休止およびコンサート自粛に伴う売上減少の影響を反映しております。

期末配当につきましては、2019年5月14日の公表通り1株当たり5円の配当予想より変更はなく、年間配当金は10円となる予定です。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因により実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上